



おっぱい通信

第54号
2017年10月
大阪南医療センター
母乳育児支援委員会



今年は
RSウイルスが
流行中
です！



RSウイルスと 母乳育児

**RSウイルスとは、
風邪のような症状が現れるウイルスのことです。**



症状は、鼻かぜから肺炎まで様々です。月齢の小さいお子さんほど重症化しやすい特徴があります。今年には特に流行しているため、上のお子さんがある場合は保育園や幼稚園からもらってくる人が多いようです。何となく元気がなかったり母乳やミルクなど飲む量が少なくなれば受診を考えて下さい。

私がRSウイルスにかかっても授乳は続けられますか？



はい、授乳は続けて大丈夫です！ **OK**

母乳からウイルスが移行するという報告はありませんが、ママの鼻水や咳から赤ちゃんに感染するおそれがあります。

ママがRSウイルスにかかったら、手洗い・うがいをしっかりと。マスクをつけて授乳しましょう。



まずはRSウイルスなど感染症にかからないように予防しましょう。

- ★手洗い・うがいをしっかりと行いましょう。食事や休養を充分にとりて抵抗力をつけましょう。
- ★マスクをつけ、赤ちゃんに向かって咳やくしゃみをしないようにしましょう。
- ★できるだけ人ごみを避け、家族みんなでRSウイルス感染を予防しましょう。

そろそろインフルエンザも流行する季節です…

妊娠中や授乳中もインフルエンザの予防接種を受けることができます。ママ自身が予防することで赤ちゃんの予防にもなります。

- ※当院ではインフルエンザ予防接種を実施しておりません。予防接種については各医療機関にお尋ねください。
- ※インフルエンザと母乳育児についての詳細は、「おっぱい通信」の第51号をご参照ください。大阪南医療センターのホームページからも見るすることができます。

